平成30年3月10日
第3回委員会
【資料４】

上郷東地区まちの再生・活性化委員会

各分科会の活動報告
平成29年度まとめ
（H29年6月～H30年2月）

「上郷東地区まちの再生・活性化委員会」と「分科会」

上郷東地区まちの再生・活性化委員会

【目的】①上郷東地区の再生・活性化に向けた検討を実施する
②区長から助言を求められたことに対して
委員会での検討内容を踏まえて報告・助言する

分科会

【目的】①個別のテーマについて具体的に検討する
②検討内容について委員会を通して区長へ報告・助言する

「分科会」

①旧庄戸中学校後利用分科会

公民連携によるまちづくりの視点も含め、地域の課題解決につながる跡地利用を中期的に検討

②地域交通分科会

環状４号線等の課題解決に向けた検討や実態アンケートと併せて、バス路線の必要性・移動先ニーズ・手段などを検討

③こども・子育て分科会

こども・子育て目線で、まちの魅力を伸ばす・広げるための意見交換等

①旧庄戸中学校後利用分科会

【目的】
公民連携によるまちづくりの視点も含め、地域の課題解決につながる跡地利用を中期的に検討

第1回 (7月)

第2回 (8月)

第3回 (9月)

活用案のとりまとめ

第4回 (12月)

経団連からの企業提案
及び意見交換

第1回 旧庄戸中学校後利用分科会

○概要

【開催】
7月22日　上郷地区センター

【参加者】
委員会委員　11名
栄区役所　4名
市政策局政策課　2名
市都市整備局地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　4名
一般参加　1名

【議題】
・リーダー決定
・各種条件等の説明
・分科会の目的や進め方の確認

●主な意見など

・10年、20年先を見て、今何が必要かを考えて意見をまとめる
・立地の制約条件を理解して検討する
・要望や意見を具体的に検討し１つの案としてまとめたい
・参加者から活用案紹介
　①野菜工場・施設を中心とした複合施設
　②地域交流施設
・庄戸のトンネル上部との一体的利用も検討する

第2回 旧庄戸中学校後利用分科会

○概要

【開催】
8月13日　庄戸中コミュニティハウス

【参加者】
委員会委員　8名
栄区役所　4名
横浜プランナーズネットワーク　2名
一般参加　2名

【議題】
各自具体案を出し合い、１つの案に整理して基本的な活用案にまとめる

●主な意見など

・地域交流施設、健康増進施設、名所づくり（桜）、ハイキングコース、民間介護福祉施設等
・野菜栽培を中心とした複合施設
・高齢者入所・通所事業所、子育て支援拠点、障がい者通所事業所等
・介護保険で賄えない通院や買い物等、日常生活支援のニーズが増加している
・既存商店街の店舗はほとんど撤退して、活性化は現実的ではない

第3回 旧庄戸中学校後利用分科会

○概要

【開催】
9月2日　庄戸中コミュニティハウス

【参加者】
委員会委員　7名
栄区役所　3名
横浜プランナーズネットワーク　2名
一般参加　2名

【議題】
・庄戸夏祭りアンケート集計結果報告
・活用案のとりまとめ資料の修正検討

●主な意見など

・アンケート結果から眺望が素晴らしいこと、交通アクセス改善が必要なこと等、再確認できた
・後利用案について、乳幼児から年配者までの福祉的視点が必要

○次回取組

活用案のとりまとめ（資料２）を経団連へ提出し、企業との意見交換を予定。

第4回 旧庄戸中学校後利用分科会

○概要

【開催】
12月18日　野七里地域ケアプラザ

【参加者】
委員会委員　6名
栄区役所　4名、市政策局　3名
市都市整備局地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　1名
一般参加　2名
経団連事務局及び傘下企業　18名

【議題】
・旧庄戸中学校の見学
・２社からの企業提案
・意見交換

●主な意見など

（分科会側）
・跡地をどのように活用するのか具体的な提案が欲しい。
・若い世代の雇用が創出されると良い。
（経団連側）
・敷地が広く、全部を買い取って活用するのは難しい。
・支援はするが、地域主体で運営してもらわないといけない。

○今後の取組（予定）

・地域、企業、行政の役割分担の明確化
・運営主体、活用範囲の検討
・事業計画の検討

②地域交通分科会

【目的】
環状４号線等の課題解決に向けた検討や移動状況アンケートと併せて、バス路線の必要性・移動先ニーズ・手段などを検討

要望事項の決定

ルート案の決定

第1回 (7月)

第2回 (8月)

第3回 (9月)

第4回 (12月)

第5回 (2月)

第1回地域交通分科会

○概要

【開催】
7月22日　上郷地区センター

【参加者】
委員会委員　9名
栄区役所　4名
横浜市役所地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　4名

【議題】
・リーダー決定
・分科会の目的や進め方の確認

●主な意見など

・以前、増便の交渉を行ったが減便になったことがあった
・バス事業者からは、車・乗務員が既にいっぱいと聞いている
・以前コミュニティバスを地域で検討したがコストが理由で断念した
・高齢化が進んでいるので、数年かけても検討すべき事項

第2回地域交通分科会

○概要

【開催】
8月26日　野七里ケアプラザ

【参加者】
委員会委員　10名
栄区役所　3名
横浜プランナーズネットワーク　2名

【議題】
・上郷公田線の概要、既存のバス路線渋滞状況、地域交通サポート事業(コミュニティバス)事例の説明

●主な意見など

・現在はそれぞれのエリアで独立したバス路線になっている
・上郷公田線を利用したバス路線開設を確かなものにしたいので、分科会から要望を出したい
・環状4号線は歩道が狭い上に電柱があるため危険である
・現状以上のバス増便は不可能と聞いている

第3回地域交通分科会

○概要

【開催】
9月30日　野七里ケアプラザ

【参加者】
委員会委員　9名
栄区役所　3名
横浜市役所地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　2名

【議題】
・庄戸夏祭りアンケート集計結果報告
・上郷公田線のバス路線新設に向けた取組について意見交換
・移動状況に関するアンケート調査(素案)について情報共有

●主な意見など

・移動状況のアンケート調査の質問内容は了承
・分科会からの要望事項が決定

1.上郷公田線の供用開始に伴い、バス路線を新設すること。
2. 渋滞を解消し、将来の地域活性化につなげるため、環状4号線の早期改善・整備を図ること。

第4回地域交通分科会

○概要

【開催】
12月16日　野七里ケアプラザ

【参加者】
委員会委員　9名
栄区役所　3名
横浜市役所地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　2名

【議題】
・ワークショップ
　バスルート案のアイデア出し

●主な意見など

・新バス路線の目的は
　①地域住民の利便性
　②各施設の利用活性化
　の２つを考慮する
・地域を細かく回ると時間がかかることも考慮すべきである
・各エリアや各施設をつなぐ路線にする必要がある
・継続して検討する必要がある

第5回地域交通分科会

○概要

【開催】
2月10日　野七里ケアプラザ

【参加者】
委員会委員　13名
栄区役所　3名
横浜市役所地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　2名

【議題】
・移動状況に関するアンケート調査中間報告
・バスルート案の再検討

●主な意見など

【アンケート】
・シニア層の回答が多いが、若い層の意見を分析する必要がある

【ルート案】
・どの案にしても人が乗らないと成立しない
・地域の利便性を重視したルート案をまとめた

○委員会での報告事項

・速達性を考慮した案も追加して委員会で５つのルート案について報告

③こども・子育て分科会

【趣旨】
こども・子育て目線で、まちの魅力を伸ばす・広げるための意見交換等

第1回 (7月)

↓

第2回 (10月)

第1回こども・子育て分科会

○概要

【開催】
7月22日　上郷地区センター

【参加者】
委員会委員　7名
栄区役所　3名
横浜市役所地域まちづくり課　1名
横浜プランナーズネットワーク　3名

【議題】
・リーダー決定
・分科会の目的や進め方の確認

●主な意見など

・多様な世代が住み続けられる住宅地としていきたい
・若い世代の居住者を増やすことが大事
・共働きや若い世代にとっては子どもを預けられる施設やサービスの充実が重要
・若い世代の意見を取り入れながら進めていきたい

第2回こども・子育て分科会

○概要

【開催】
10月28日　庄戸中コミュニティハウス

【参加者】
委員会委員　7名
栄区役所　3名
横浜プランナーズネットワーク　2名

【議題】
・庄戸夏祭りアンケート集計結果報告
・住み替え事例紹介
・ＰＴＡへのヒアリング報告

●主な意見など

・庄戸中後利用の影響大きいのではないか
・働く場所が身近にほしい
・都心に通勤するのを前提にしない暮らしや働き方を考える必要がある
・車が運転できるので不便ではないが、将来が不安という声もあった
・小学生がいる世帯は地域とのつながりがあるが、中・高校生になると薄くなる。

○委員会での報告事項

・各意見をジャンルごとにまとめて報告